事業報告

【施設概要】

（平成29年4月1日　～　平成30年3月31日）

社会福祉法人　青山福祉会

介護老人福祉施設　「特別養護老人ホーム森の里」（従来型・木精館）
介護老人福祉施設　「特別養護老人ホームいがの里」
短期入所生活介護事業所　「森の里」
短期入所生活介護事業所　「いがの里」
認知症対応型共同生活介護事業所　「グループホーム森の里」
通所介護事業所　「デイサービスセンターあおやま森の里」
通所介護事業所　「デイサービスセンターあおやま百々」
居宅介護支援事業所　「あおやま」
地域支援事業

法　人

【平成29年度社会福祉法人青山福祉会事業状況報告】

社会福祉法人制度改革に伴い平成29年度より本格的な施行となり、経営組織のガバナンスの強化、事業運営の透明性、財務規律の強化、地域貢献など今年度は下記の点について取り組みを実施した。

・法人役員、評議員の改選・理事長の改選
・法人制度改革制度などの法律の変更により、定款、経理規程、就業規則（非正規）、育児・介護休業の規程の変更や内部管理体制に関する諸規定の制定、運営委員会等各種委員会の整備
・人材不足対策として、給与規程の改正、初任給規程の改正、介護職員・運転業務職員の給与形態の改正、夜勤手当の増額などを実施
・今後の人材不足対策として、平成29年11月より介護分野に広げられた外国人技能実習生受け入れを伊賀管内でいち早く対応し、監理団体と契約締結し受け入れ。
・給食業務委託契約が満了することから、森の里では現地調理方式、いがの里ではユニットケアを推進していくためにクックチル方式で総合評価による入札を実施し委託業者を決定。

介護保険事業の収支状況においては、平成28年度より人材不足のためショートステイの受け入れ枠を縮小せざるを得ない状況となり、大幅な赤字経営となったが平成29年度は派遣会社や人材紹介会社など幅広く人材会社とコンタクトを取りあらゆる対応を行いながら職員確保に努め、少しずつであるが職員配置も整いショートステイの受け入れ人数が回復した。デイサービスセンターあおやま百々の事業においては、稼働率の低い日曜日の稼働休止と職員配置の見直しを行い経営の健全化を図った。これらのことから平成29年度の事業活動収支は法人全体において黒字化に転換することができた。

介護サービス面では、安心安全で利用者を尊重したケアに努め、また嘱託医師との連携強化を図り、口腔ケア、看取りケアなど根拠に基づいた専門的なサービスの提供を推進し、看取りケアにおいては家族からの感謝の声をいただいている。また、社会福祉法人の使命である地域貢献事業においても、お買い物バスの継続的な運営やもりの喫茶店の開催、地域のサロンの運営において支援活動を進めた。

１．開催した主な会議

（１）理事会

◆第１回（6月2日）

第１号議案　平成28年度社会福祉法人青山福祉会事業報告について
第２号議案　平成28年度社会福祉法人青山福祉会歳入歳出決算について
第３号議案　平成28年度社会福祉法人青山福祉会社会福祉充実残高について
第４号議案　社会福祉法人青山福祉会定時評議員会の招集事項を定めることについて
第５号議案　社会福祉法人青山福祉会役員候補者の推薦について
第６号議案　社会福祉法人青山福祉会役員報酬等の額及び支給の基準について
第７号議案　社会福祉法人青山福祉会運営協議会の設置に伴う委員の選任について
第８号議案　社会福祉法人青山福祉会初任給・級別資格基準取扱要領の一部を改正する要領について
第９号議案　社会福祉法人青山福祉会管理職員特別勤務手当に関する規則の制定について
第10号議案　社会福祉法人青山福祉会給与規程に定める処遇改善手当支給要領の一部を改正する要領について
第11号議案　通所介護デイサービスあおやま森の里管理者の任免について

◆第２回（6月22日）

第12号議案　社会福祉法人青山福祉会役員の選任について

◆第３回（8月18日）

第13号議案　社会福祉法人青山福祉会給与規程の一部改正する規程について
第14号議案　社会福祉法人青山福祉会育児・介護休業等に関する規則の一部を改正する規則について
第15号議案　平成28年度社会福祉法人青山福祉会歳入歳出決算の一部修正について
第16号議案　社会福祉法人青山福祉会評議員会の招集事項を定めることについて

◆第４回（11月27日）

第 17 号議案　社会福祉法人青山福祉会育児・介護休業等に関する規則の一部を改正する規則について
第 18 号議案　社会福祉法人青山福祉会就業規則（パートタイム職員）の一部を改正する規則について
第 19 号議案　社会福祉法人青山福祉会給食調理業務委託に係る総合評価による指名競争入札実施要領の一部を改正する要領について

◆第 5 回（3 月 19 日）
第 20 号議案　社会福祉法人青山福祉会定款細則の一部を改正する細則について
第 21 号議案　社会福祉法人青山福祉会経理規程の一部を改正する規程について
第 22 号議案　社会福祉法人青山福祉会経理規程細則の一部を改正する細則について
第 23 号議案　社会福祉法人青山福祉会就業規則の一部を改正する規則について
第 24 号議案　社会福祉法人青山福祉会就業規則（非正規職員）の制定について
第 25 号議案　社会福祉法人青山福祉会就業規則（パートタイム職員）の一部を改正する規則について
第 26 号議案　社会福祉法人青山福祉会給与規程の一部を改正する規程について
第 27 号議案　社会福祉法人青山福祉会旅費規程の一部を改正する規程について
第 28 号議案　平成 29 年度社会福祉法人青山福祉会歳入歳出補正予算について
第 29 号議案　平成 30 年度社会福祉法人青山福祉会事業計画について
第 30 号議案　平成 30 年度社会福祉法人青山福祉会歳入歳出予算について
第 31 号議案　社会福祉法人青山福祉会内部管理体制に関する諸規程の制定について
第 32 号議案　社会福祉法人青山福祉会評議員選任・解任委員の欠員に伴う補充について
第 33 号議案　社会福祉法人青山福祉会理事の欠員に伴う補充理事候補者の推薦について
第 34 号議案　社会福祉法人青山福祉会業務執行理事の選定について
第 35 号議案　社会福祉法人青山福祉会役員報酬等の額及び支給の基準の一部改正について
第 36 号議案　社会福祉法人青山福祉会内部管理体制の基本方針に定める経営会議に関する理事の選任及びコンプライアンス担当理事の推薦について
第 37 号議案　社会福祉法人青山福祉会施設長等の人事について
第 38 号議案　社会福祉法人青山福祉会評議員会の招集事項を定めることについて

（2）評議員会
◆第 1 回（6 月 22 日）
第 1 号議案　平成 28 年度社会福祉法人青山福祉会事業報告について
第 2 号議案　平成 28 年度社会福祉法人青山福祉会歳入歳出決算について
第 3 号議案　社会福祉法人青山福祉会役員の選任について
第 4 号議案　社会福祉法人青山福祉会役員報酬等の額及び支給の基準について
◆第 2 回（8 月 29 日）
第 5 号議案　社会福祉法人青山福祉会デイサービスセンターあおやま百々の運営健全化にについて
第 6 号議案　社会福祉法人青山福祉会歳入歳出決算の一部修正について
◆第 3 回（3 月 28 日）
第 7 号議案　社会福祉法人青山福祉会定款細則の一部を改正する細則について
第 8 号議案　平成 29 年度社会福祉法人青山福祉会歳入歳出補正予算について
第 9 号議案　平成 30 年度社会福祉法人青山福祉会事業計画について
第 10 号議案　平成 30 年度社会福祉法人青山福祉会歳入歳出予算について
第 11 号議案　社会福祉法人青山福祉会理事の欠員に伴う補充理事の選任について
第 12 号議案　社会福祉法人青山福祉会役員報酬等の額及び支給の基準の一部改正について

（3）監事会
5 月 11 日
平成 28 年度事業状況にいて
平成 28 年度歳入歳出決算について

10月30日
平成29年度上半期事業進捗状況について
平成29年度上半期経理状況について

（4）青山福祉会運営協議会
8月28日
社会福祉法人改革について
平成28年度事業報告について
平成28年度歳入歳出決算について
意見交換

（5）入所検討委員会
特養森の里　9月28日
3月22日
特養いがの里　6月28日
9月27日
12月19日
※特養森の里、特養いがの里において毎月入居状況の報告を行う。

（6）グループホーム運営推進会議
4月21日
・平成28年度活動報告、利用状況報告
6月23日
・利用状況、行事・活動報告
・実施指導の結果報告
8月25日
・利用状況、行事・活動報告
・利用料金の変更について
10月13日
・利用状況、行事・活動報告
・家族アンケート報告
12月11日
・利用者状況、行事・活動報告
2月23日
・利用状況、29年度の事故・ヒヤリハット報告

（7）福祉サービス苦情解決に係る第三者委員との意見交換会
11月2日
・平成28年度事故・苦情状況について

2．実施した主な行事
（1）チャリティゴルフ大会　5月25日
（2）夏祭り
森の里（特養森の里・木精館・デイ森の里・グループホーム・百々）　7月30日
いがの里　8月5日
（3）敬老祝賀会
森の里（特養森の里・木精館・グループ森の里）　9月16日
いがの里　9月16日
（4）家族会
森の里（特養森の里・木精館）　6月10日
いがの里　6月18日

3．職員の状況

（1）職員数

平成30年3月31日現在の職員数　…　199人（正規88人　非正規108人　再雇用2人
出向1人　派遣16人）
平成29年3月31日現在の職員数　…　203人（正規95人　非正規108人）
平成28年3月31日現在の職員数　…　197人（正規102人　非正規95人）
平成27年3月31日現在の職員数　…　198人（正規107人　非正規91人）
介護福祉士取得者　　70人[うち介護職員61人]（平成30年3月31日現在）
介護支援専門員取得者　19人（平成30年3月31日現在）

（2）過去3年の採用と離職　（人）

	採用者数		離職者数		正規職員
区　分	正規職員	非正規職員	正規職員	非正規職員	任用
平成29年度	1	10	4	12	0
平成28年度	1	20	6	16	2
平成27年度	1	25	10	14	4

（3）職員の研修

①施設外研修（OFF-JT）

全国老施協研究大会、東海北陸ブロック研修大会や三重県老施協や三重県社協が開催する各種専門研修など70件に延べ164人の職員を派遣した。

②施設内研修（OJT）

法人全体研修　－　1月12日
森の里全体研修　－　6月4日
いがの里全体研修　－　5月10日
※理念・方針の共有、事故防止、人権について研修を実施する。

（4）ワークライフバランスの推進

・育児休業（平成29年度末　3人）
・育児のための短時間勤務（平成29年度末　3人）
・ノー残業デー　毎月第3水曜日と第4水曜日に実施
・職場内保育施設『森のこども』
平成29年度　利用職員　7人　延べ利用（子ども）169人（実施日数46日）
平成28年度　利用職員　7人　延べ利用（子ども）211人（実施日数56日）
平成27年度　利用職員　10人　延べ利用（子ども）143人（実施日数58日）

特別養護老人ホーム森の里・特別養護老人ホーム木精館

（1）介護老人福祉施設　「特別養護老人ホーム森の里」

施設サービス計画に基づき、入浴、排泄、食事等の介護、相談及び援助、社会生活上の便宜の供与、その他の日常生活の世話、機能訓練、健康管理を行い、利用者がその有する能力に応じ、自立した日常生活を営むことができるように努め、重点目標に向けた取り組みを行った。また、平成29年度はインフルエンザの集団感染が発生したが素早い対応によりことなきを得た。

（2）介護老人福祉施設「特別養護老人ホーム森の里木精館」

施設サービス計画に基づき、入居前の生活と入居後の生活が連続したものとなるように配慮しながら、ユニットの社会的な関係を築き、自律的な日常生活を営むことができるように努め、重点目標に取り組みを行った。また、高品質介護の取り組みとして東海北陸ブロック老人福祉施設研究大会で看取りケアについての研究事例発表を行った。

＜森の里・森の里木精館　重点目標＞

①介護事故ゼロを目指す（人為的ミスによる事故ゼロ）

②快適な排泄ケアの実践

③接遇マナーの徹底（あいさつ、言葉使い等）

【利用者の年齢について】　（歳）

	全体			従来型			木精館		
	全体	男性	女性	全体	男性	女性	全体	男性	女性
平均年齢	85.2	81.1	86.5	84.9	80.0	86.4	85.6	82.5	86.7
最高年齢	100	94	100	100	94	100	100	81	100
最低年齢	66	68	66	66	68	66	73	73	93
逝去された方の平均年齢	93.1	92.5	93.2	92.8	92.0	92.9	93.3	92.6	93.6

厚生労働省の平成28年度の統計によると日本人の平均寿命は男性80.98歳、女性87.14歳である。

【在所年数】　（年）

	従来型			木精館		
	全体	男性	女性	全体	男性	女性
平均在所年数	3年2ヶ月	2年1ヶ月	3年3ヶ月	3年4ヶ月	3年6ヶ月	3年6ヶ月
最長在所年数	11年	3年8ヶ月	11年	5年11ヶ月	5年11ヶ月	5年11ヶ月
逝去された方の平均在所年数	4年3ヶ月	4年	4年7ヶ月	2年3ヶ月	1年2ヶ月	3年

平成30年3月31現在の平均在所年数及び最長在所年数。

【逝去された方の統計】　（人）

		全体	森の里	病院等
平成22年度		10	3	7
平成21年度		11	9	2
平成22年度		13	8	5
平成24年度	従来型	14	11	3
	木精館	8	3	5
	全体	22	14	8
平成25年度	従来型	21	17	4
	木精館	6	4	2
	全体	27	21	6
平成26年度	従来型	13	9	4
	木精館	11	5	6
	全体	24	14	10
平成27年度	従来型	16	13	3
	木精館	12	7	5
	全体	28	20	8
平成28年度	従来型	13	10	3
	木精館	10	8	2
	全体	23	18	5
平成29年度	従来型	10	9	1
	木精館	10	7	3
	全体	20	16	4

【平均要介護度】

過去５年間の推移

年度	平成25年度	平成26年		平成27年		平成28年度		平成29年度	
平均要介護度	3.9	従4.2	木3.5	従3.9	木3.6	従3.9	木3.8	従3.9	木3.7

【社福減免】

保険者名	実人数	軽減額
伊賀市	０人	０円

平成29年度の減免対象者は０人でした。

【事故等】

（件）

施設内処理				市へ報告			
ヒヤリハット報告		事故報告		受傷等		死亡	
従：960	ユ：614	従：129	ユ：74	従：7	ユ：2	従：0	ユ：0
1574		203		9		0	

※「従」は「従来型」　「ユ」は「ユニット型」

※市への報告件数には特別養護老人ホーム森の里（従来型）で発生したインフルエンザの集団感染の報告を含む。

【利用者の様子】

◆食事

入所者一人当たり月別食事基本カロリー

	平成29年度												
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
エネルギー（kcal）	1625	1627	1601	1605	1600	1607	1631	1614	1597	1634	1627	1648	1618
たんぱく質（g）	58.1	59.2	57	58.4	55.7	57.5	56.3	56	56.7	58.5	58.7	59.2	57.6
塩分量	8.4	8.6	8.4	8.9	8.3	8.7	8.7	8.7	8.6	8.6	8.6	8.8	8.6
食物繊維	13.6	14	13.8	13.6	13.7	13.9	13.1	13.8	14	13.7	14.1	13.8	13.7

◆日常生活

（人）

区分	項目	従	ユ	計	H28
歩行	自立歩行	3	0	3	2
	杖等の歩行補助器具使用	1	8	9	16
	車いす使用	38	20	58	49
	リクライニング車いす	7	11	18	21
入浴	自分で可能	0	0	0	1
	一部介助	11	14	25	35
	全部介助	34	25	59	52
食事	自分で可能	31	18	49	38
	一部介助	7	8	15	15
	全部介助	6	8	14	15
	経管栄養	6	5	11	11

区分	項目		従	ユ	計	H28
着脱衣	自分で可能		0	6	6	9
	一部介助		26	17	43	38
	全部介助		23	16	39	41
排泄	トイレ	自分で可能	1	3	4	4
		一部介助	19	17	36	30
		全部介助	16	2	18	39
	ポータブルトイレ	自分で可能	2	2	4	5
		一部介助	3	4	7	4
		全部介助	10	0	10	4
	オムツ・パッド等使用		28	22	50	58
認知症の利用者			35	28	63	58
褥瘡のある利用者			0	0	0	1

◆体重

区分	-30		31-40		41-50		51-60		61-		合計		最高体重(kg)		最低体重(kg)	
	従	ユ	従	ユ	従	ユ	従	ユ	従	ユ	従	ユ	従	ユ	従	ユ
男	0	0	3	0	6	4	3	4	0	2	12	10	52.5	64.0	33.9	42.8
	0		3		10		7		2		22					
女	1	1	14	6	19	20	3	3	1	0	38	30	70.0	63.8	29.3	28.2
	2		20		39		6		1		68					
計	1	1	17	6	25	24	6	7	1	2	50	40				
	2		23		49		13		3		90					

◆慢性疾患　　(人)

障害区分	病名	従来型			木精館			合計	平成28年
		男	女	小計	男	女	小計		
脳血管障害	蜘蛛膜下出血	1	0	1	2	0	2	3	3
	脳出血・脳梗塞	9	16	25	4	8	12	37	35
	脳動脈硬化症	0	0	0	0	0	0	0	0
	パーキンソン病	0	1	1	0	1	1	2	5
	脳血栓	0	2	2	0	0	0	2	2
循環器疾患	高血圧症	7	25	32	5	11	16	48	48
	心不全	0	2	2	0	1	1	3	10
	狭心症・心筋梗塞	1	0	1	0	0	0	1	0
	心房細動	1	0	1	0	1	1	2	9
	閉塞性動脈硬化症	1	1	2	0	0	0	2	2
	貧血	0	2	2	0	3	3	5	3
	高脂血症	1	4	5	0	4	4	9	11
呼吸器疾患	気管支喘息	1	0	1	0	0	0	1	3
	慢性気管支炎・肺気腫	0	2	2	2	1	3	5	4
	肺炎	4	8	12	1	4	5	17	4
消化器疾患	胃潰瘍・十二指腸潰瘍	0	2	2	0	1	1	3	1
	胃癌	0	0	0	0	0	0	0	0
	ヘルニア・イレウス	0	0	0	2	0	2	2	1
	胆石・胆嚢炎	1	6	7	2	3	5	12	8
	大腸癌　手術後	1	0	1	1	1	2	3	0
	慢性胃炎	0	0	0	0	0	0	0	4
	大腸炎	0	0	0	1	1	2	2	0
	肝疾患	0	1	1	0	0	0	1	2
	逆流性食道炎	1	3	4	0	4	4	8	6
	便秘症	5	17	22	2	4	6	28	12
	膵臓癌	0	0	0	0	0	0	0	1
内分泌代謝性疾患	糖尿病	0	4	4	3	3	6	10	11
骨・関節疾患	骨粗鬆症	0	6	6	0	5	5	11	7
	リュウマチ	0	1	1	0	0	0	1	0
	大腿骨骨折	0	5	5	0	13	13	18	5
	脊椎症	1	4	5	0	3	3	8	12

	膝関節症・腰椎症	0	5	5	0	5	5	10	12
泌尿・生殖器疾患	膀胱炎・腎炎	0	3	3	0	3	3	6	0
	尿路感染症	0	4	4	0	3	3	7	2
	腎不全	0	1	1	0	0	0	1	1
	膀胱癌・水腎症	0	0	0	0	0	0	0	1
	腎硬化症・腎膿瘍	0	0	0	0	0	0	0	0
	高尿酸血症	0	0	0	0	0	0	0	0
	神経因性膀胱炎	0	2	2	1	1	2	4	5
	前立腺肥大	3	0	3	1	0	1	4	7
眼疾患	白内障	1	1	2	1	2	3	5	2
	緑内障	0	0	0	0	22	22	22	3
皮膚疾患	掻痒症	3	5	8	0	0	0	8	1
	帯状庖疹	0	1	1	0	0	0	1	0
	白癬	5	5	10	0	0	0	10	9
	乾癬症	0	1	1	0	0	0	1	0
	慢性湿疹	0	0	0	0	0	0	0	2
精神疾患	老人性認知症	2	8	10	4	10	14	24	23
	鬱病	0	1	1	0	2	2	3	4
	アルツハイマー	1	8	9	1	7	8	17	20
	精神発達遅滞	0	1	11	0	0	0	11	1
婦人科疾患	子宮癌	0	0	0	0	0	0	0	0
	子宮筋腫	0	1	1	0	0	0	1	0
耳鼻科	メニエル症候群	0	1	1	0	1	1	2	1

◆機能訓練　（人）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	H28
体操		48	42	56	44	57	41	22	31	57	32	9	11	450	563
歌を歌う		26	53	8	43	49	40	25	21	49	0	8	9	331	448
音読		26	46	8	43	49	40	25	21	49	0	0	8	315	407
折り紙		0	33	40	41	33	38	0	8	0	0	0	0	193	142
運動		38	0	0	41	5	9	0	0	0	0	0	0	93	352
ハンドベル		0	0	0	0	0	0	0	18	0	0	0	0	18	76
計算		0	0	0	0	0	0	11	15	12	0	8	8	54	47
カラオケ		16	0	15	9	0	0	0	10	0	0	20	0	70	—
ビデオ上映		40	0	40	0	32	0	11	0	9	32	11	8	183	264
園芸クラブ		0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	4	—
手芸クラブ		0	5	6	6	5	0	6	0	0	0	0	0	28	—
歩行訓練	老人車	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	20
	歩行器	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	38
	平行棒	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	22
立位訓練		1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	67
足上げ		7	7	8	7	6	3	0	0	0	0	0	0	38	151
上肢運動		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	42

【待機者の状況】　（人）

	男	女	合計
旧青山町	11（5）	25（12）	36（17）
他伊賀市内	6（1）	6（3）	12（4）
その他の地域	4（3）	7（3）	11（6）
合計	21（9）	38（18）	59（27）

平成30年3月31日現在の数字である。（　）内の数字は入所判定基準で当法人が入所相当と認める80点以上の待機者の数。

※このほか、要介護1及び要介護2の方の申込みは1件仮受付をしているが、いずれも特例入所には該当せず。

【主な行事】

月	全体行事
4月	お花見
6月	家族会
7月	七夕会・夏祭り
9月	敬老会
11月	作品展出品、見学
12月	クリスマス会、年末行事（餅つき、門松づくり）
1月	新年会
2月	節分会
3月	ひな祭り会

（3）短期入所生活介護事業所　「森の里」

利用者が可能な限り、その居宅において、その有する能力に応じ、自立した日常生活を営むことができるよう、入浴、排泄、食事等の介護、その他の日常生活の世話及び機能訓練を行うことにより心身の機能の維持並びに利用者の家族の身体的及び精神的負担の軽減（レスパイトケア）を図り、下記の目標達成に努めた。

＜重点目標＞

①介護事故ゼロを目指す（人為的ミスによる事故ゼロ）
②快適な排泄ケアの実践
③接遇マナーの徹底（あいさつ、言葉使い等）

【利用者数】

	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
延べ人数	57人	58人	870人	1224人	1287人	1179人	407人
1人あたりの利用日数	3.8日	5.8日	8.7日	11.0日	11.9日	12.0日	11.9日

【平均要介護度】

過去6年間の推移

年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
平均要介護度	3.1	3.1	3.2	2.8	2.4	2.5

【社福減免】

保険者名	実人数	軽減額
伊賀市	1人	10,178円

平成29年度の減免対象者は0人でした。

【主な行事】　※特養森の里と同じ

認知症対応型共同生活介護事業所　「グループホーム森の里」

家庭的な環境の下で、入浴・排泄・食事等の介護、その他日常生活上の世話及び機能訓練を行うことにより、利用者がその有する能力に応じ、自立した日常生活を営むことができるよう支援し、下記の重点目標の達成に努めた。

＜重点目標＞

①利用者の満足度 UP

②利用者の安心、安全に生活できる環境つくり

【利用者の年齢について】　（歳）

	全体	男性	女性
平均年齢	88	89	82
最高年齢	99	95	99
最低年齢	78	81	78

【在所年数】

	全体	男性	女性
平均在所年数	4年4ヶ月	4年3ヶ月	4年1ヶ月
最長在所年数	13年7ヶ月	6年11ヶ月	13年7ヶ月
退所された方の平均在所年数	4年6ヶ月	4年7ヶ月	4年5ヶ月

【退所された方の統計】　（人）

	全体	特養へ	その他
平成23年度	1	0	1
平成24年度	5	3	2
平成25年度	9	4	5
平成26年度	2	2	0
平成27年度	5	2	3
平成28年度	9	3	6
平成29年度	5	3	2

【平均要介護度】

過去6年間の推移

年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
平均要介護度	2.0	2.0	2.0	2.0	1.8	2.0

【事故等】

施設内処理		市へ報告	
ヒヤリハット報告	事故扱い	受傷等	死亡
228	62	7	1

【社福減免】

保険者名	実人数	軽減額
伊賀市	0人	0円

平成29年度の減免対象者は0人でした。

【日常生活】　（人）

区分	項目	計	H28	区分	項目	計	H28
歩行	自立歩行	9	10	着脱衣	自分で可能	10	10
	杖等の歩行補助器具使用	13	13		一部介助	14	13
	車いす使用	5	4		全部介助	3	4

	リクライニング車いす	0	0	排泄	トイレ	自分で可能	10	9
入浴	自分で可能	1	5			一部介助	14	14
	一部介助	22	16			全部介助	3	4
	全部介助	4	6		ポータブルトイレ	自分で可能	3	0
食事	自分で可能	25	24			一部介助	2	0
	一部介助	2	3			全部介助	5	0
	全部介助	0	0		オムツ使用		2	2
	経管栄養	0	0					

【待機者の状況】　（人）

	男	女	合計
旧青山町	3	2	5
他伊賀市内	5	2	7
その他の地域	0	0	0
合計	8	4	12

平成 30 年 3 月 31 日現在の数字である。

【主な行事】

	全　体　行　事
４月	花見（特養前）　運営推進会議
５月	外食会
６月	運営推進会議
７月	七夕（七夕飾りとソーメン流し） 矢持地区夏祭り参加
８月	喫茶会　運営推進会議
１０月	収穫祭（家族交流イベント） 紅葉ドライブ　運営推進会議
１１月	青山文化展（出品と見学）
１２月	クリスマス会　運営推進会議
１月	新年会　初詣
２月	節分　運営推進会議
３月	雛祭り

通所介護事業所　「デイサービスセンターあおやま森の里」

可能な限り居宅において、能力に応じて自立した日常生活を営むことが出来るよう、必要な日常生活の世話及び機能訓を行うことにより、『社会的孤立感の解消』および心身の維持並びに家族の身体的、精神的負担の軽減（レスパイトケア）に努めた。下記の重点目標でもあるアクティビティサービスの充実に努め、当事業所独自のサービスとして、あんまマッサージ師による機能訓練の充実とリラクゼーションの提供も実施している。

＜重点目標＞

①利用者及びご家族の生活課題改善の支援と対応の充実
②個別機能訓練の充実
③アクティビティの充実
④介護保険制度改正への迅速な対応

【利用者の年齢について】

	全体	男性	女性
平均年齢	88.2	85.4	89
最高年齢	98	93	98
最低年齢	74	77	74

【平均要介護度】

過去６年間の推移

年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
平均要介護度	1.6	1.4	2.0	2.1	2.0	1.7

【事故等】

施設内処理		行政（市）報告	
ヒヤリハット報告	事故	受傷等	死亡
35	6	0	0

【社福減免】

保険者名	実人数	軽減額
伊賀市	０人	０円

平成 29 年度の減免対象者は０人でした。

【日常生活】

（人）

区分	項目	計	H28	区分	項目		計	H28
歩行	自立歩行	11	12	着脱衣	自分で可能		28	27
	杖等の歩行補助器具使用	39	29		一部介助		26	11
	車いす使用	10	8		全部介助		6	11
	リクライニング車いす	0	0	排泄	トイレ	自分で可能	25	32
入浴	自分で可能	3	0			一部介助	23	8
	一部介助	48	38			全部介助	10	8
	全部介助	8	8		ポータブルトイレ	自分で可能	0	0
食事	自分で可能	53	49			一部介助	0	0
	一部介助	7	0			全部介助	0	0
	全部介助	0	0		オムツ使用		0	0
	経管栄養	0	0					

【主な行事】

月	全体行事
４月	お花見　　野外昼食会
５月	ゲートボール大会
６月	つり掘り
７月	七夕
８月	ボーリング大会
９月	敬老会
10 月	運動会　秋の味覚祭
11 月	文化展出展　おやつ作り
12 月	クリスマス会　忘年会
１月	お正月遊び　新年会
２月	節分
３月	ひな祭り　矢持地区文化展出展及び見学

通所介護事業所　「デイサービスセンターあおやま百々」

可能な限り居宅において、能力に応じて自立した日常生活を営むことが出来るよう、必要な日常生活の世話及び機能訓を行うことにより、『社会的孤立感の解消』および心身の維持並びに家族の身体的、精神的負担の軽減（レスパイトケア）に努め、以下の重点目標に取り組んだ。

＜重点目標＞

①利用者の立場にたった専門的ケアの提供

②非常事態時の対応に備える。

【年齢について】　（歳）

	全体	男性	女性
平均年齢	86.9	79.7	88.0
最高年齢	97	93	97
最低年齢	62	74	62

【平均要介護度】

過去6年間の推移

年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
平均要介護度	2.3	2.2	2.6	2.4	2.5	1.7

【事故等】

施設内処理		市へ報告	
ヒヤリハット報告	事故報告	受傷等	死亡
37	12	0	0

【社福減免】

保険者名	実人数	軽減額
伊賀市	0人	0円

平成29年度の減免対象者は0人でした。

【日常生活】　（人）

区分	項目	計	H28	区分	項目		計	H28
歩行	自立歩行	19	22	着脱衣	自分で可能		23	23
	杖等の歩行補助器具使用	43	60		一部介助		37	75
	車いす使用	30	25		全部介助		32	10
	リクライニング車いす	0	1	排泄	トイレ	自分で可能	35	39
入浴	自分で可能	19	2			一部介助	33	63
	一部介助	26	79			全部介助	20	0
	全部介助	41	16		ポータブルトイレ	自分で可能	0	0
食事	自分で可能	83	98			一部介助	0	0
	一部介助	7	8			全部介助	0	0
	全部介助	2	2		オムツ使用		4	6
	経管栄養	0	0					

【主な行事】

月	全体行事
4月	春のドライブ
6月	おやつ作り
7月	七夕
8月	夏祭り
9月	敬老祝賀会（ボランティアによる催し物）
10月	運動会

11月	
12月	おやつ作り（クリスマス会　忘年会）
1月	新年祝賀会（ボランティアによる催し物）
2月	
3月	ひな祭り

居宅介護支援事業所　「あおやま」

要介護状態になった場合においても、その利用者が可能な限りその居宅においてその有する能力に応じ、自立した生活を営むことができるような支援に努めたほか、週 1 回の事業所内会議を開催し、処遇困難ケースの検討や活用できる社会資源の情報共有、ケアマネジメントに関する技術の共有を行った。また、ケアマネジメントによる個人を中心としたネットワークづくりのための地域ケア会議に参加した。
のべ利用者数 1,503 人中、要介護 1 、2 の利用者が 922 人、要介護 3 以上の中重度要介護者が 581 人であり、医療連携として入院時情報提供 11 人・退院調整のためのカンファレンスを 29 人行った。

＜重点目標＞

① 住み慣れた地域で暮らすために医療・介護との連携
② 他職種協働による支援体制の強化

【活動範囲】

地区	阿保	別府	寺脇	岡田	柏尾	羽根	伊勢路	下川原	北山	妙楽地	勝地	瀧
人数	198	31	0	54	12	33	30	24	5	36	45	50
割合(%)	13.2	2.1	0	3.6	0.8	2.2	2	1.6	0.3	2.4	3	3.3
地区	種生	高尾	老川	霧生	腰山	諸木	福川	川上	奥鹿野	桐ヶ丘	その他	合計
人数	121	130	21	191	132	33	12	0	0	182	163	1503
割合(%)	8.1	8.6	1.4	12.7	8.8	2.2	0.8	0	0	12.1	10.8	100

1 年間の延べ利用者数の合計に対する各地域の延べ利用者数の割合。居宅介護支援事業所あおやまの通常事業実施地域は伊賀市、名張市であるが住所を移さず伊賀市に住む子の元でサービスを利用したり、名張市のサ高住でサービスを受ける利用者がその他の活動範囲となっている。

【平均要介護度】

過去 6 年間の推移

年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
平均要介護度	2.4	2.2	2.1	2.1	2.1	2.3

【活動内容】

伊賀市より介護予防ケアマネジメント業務委託を受け 32 件実施した。
民生委員との交流会（毎月第 3 日曜日）や地域ケア会議（年 3 回）を通して事例検討会を行っている。
また、地域支援事業の一環として月 2 回（火曜日）、もりの喫茶店を地域住民にも開放し、法人施設の利用者と地域住民の交流の場を設けている。

【介護予防教室】

転倒予防のための体操教室を 2 回行った。

月　日	場　所	地　区	参加人数
7 月 19 日	特別養護老人ホーム森の里木精館	腰山	15 人
11 月 20 日	腰山コミュニティセンター	腰山	19 人

【主な行事】

	業務・研修
4月	居宅会議
5月	居宅会議・事例検討会
6月	居宅会議
7月	居宅会議・事例検討会
8月	居宅会議
9月	居宅会議・事例検討会
10月	居宅会議
11月	居宅会議・事例検討会
12月	居宅会議
1月	居宅会議・事例検討会
2月	居宅会議
3月	居宅会議・事例検討会

特別養護老人ホームいがの里

施設サービス計画に基づき、入居前の生活と入居後の生活が連続したものとなるように配慮しながら、ユニットの社会的な関係を築き、自律的な日常生活を営むことができるように努め、下記の重点目標に取り組んだ。

＜重点目標及び成果＞

①利用者のその方らしい暮らしを支援していくために、ユニットリーダー研修実地施設となる基本要件の取り組みを進め、6割（99項目中）の実現を目指す。

・9割の要件を達成した。また、今年度は、施設長がユニットケア管理者研修の受講を終了し、施設長の指揮のもと、さらに新たな目標に向かって取り組んだ。その中で、特に成果を出せたのは、排泄ケアの見直しと食事提供の転換である。排泄ケアについては、業者の協力を得ながら、個々に排泄データをとり、個別の排泄リズムを把握し、リズムに合ったケアの実施及び適切な排泄用品を選択することで、入居者様の快適な生活、職員の負担の軽減、排泄用品のコスト削減等を目指した。又食事に関しては、委託業者による食事提供からクックチルでの食事提供への変換を決定し、管理栄養士中心に、導入の流れに沿って、施設見学の実施、数回にわたる実演、説明会の実施、試行、新たな取引業者の選別、必要物品の購入等の準備に尽力した。

②安心で安全な暮らしを送ってもらうように重大事故の発生防止のために毎月、啓発活動を行っていく。

・重大事故発生防止の啓発運動については、事故防止委員会を毎月開催し、事故、ヒヤリハットの内容を検討、また、2回/年、施設内研修会を開催した。

③その方らしい生活を過ごしてもらうために専門的なケアを実践し、取り組みを発表していく。

・専門的なケアの実践については、各委員会の活動を中心に、ユニットごとで職員の育成、統一したケアの実践に取り組んだ。特に看取りケアは、看護と介護の連携による実践ができ、年度末には感動的な実践報告会を行った。また、口腔ケアについても、毎月歯科医、歯科衛生士による口腔指導を受け、口腔衛生に取り組んだ。

・ショートステイでは、楽しんでいただける余暇活動の提供や毎月の食事会、季節に応じた行事の取り組みを行った。

④利用者、家族の満足度の向上を図るために、サービスの（接遇、専門性）についての満足度調査を1回実施し、現状の把握に努める。

・満足度調査の実施については、今年初めて行った。今後も継続していく。

⑤地域との関わりを深め、介護の魅力や施設に関心を持ってもらうために、伝えていく場を年2回開催する。

・地域との関わりを深め、介護の魅力発信については、施設の防災訓練に地域の民生委員、消防団等の協力を頂けるように働きかけた。また、施設で、陶芸教室、ハーバリューム教室を開催し、地域の方の参加も得られた。いがまち在宅介護者家族の会「ひまわり会」の開催も、定例となってきている。今年度の介護予防教室へは7回講師派遣した。

（1）介護老人福祉施設　「特別養護老人ホームいがの里」

【利用者の年齢について】　（歳）

	全体	男性	女性
平均年齢	87.3	83.9	88
最高年齢	100	97	100
最低年齢	65	68	65
逝去された方の平均年齢	85.3	82.4	86.8

厚生労働省の平成28年度の統計によると日本人の平均寿命は男性80.98歳、女性87.14歳である。

【在所年数】

	全体	男性	女性
平均在所年数	3年	2年3ヶ月	3年2ヶ月
最長在所年数	13年	5年8ヶ月	13年
逝去された方の在所年数	3年8ヶ月	6ヶ月	7年4ヶ月

【逝去された方の統計】　（人）

	全体	いがの里	病院等
平成27年	9	4	5
平成28年	18	9	9
平成29年	15	11	4

【平均要介護度】

過去5年の推移

年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
平成要介護度	3.5	3.6	3.7	3.5	3.4

【社福減免】

保険者名	実人数	軽減額
伊賀市	2名	384,580円
名張市	0名	0円
合計	2名	300,120円

平成29年度は、減免対象者は2名だった。

【事故等】　（件）

施設内処理		事故報告	
ヒヤリハット報告	事故報告	受傷等	死亡
686	158	7	0

【利用者の様子】

◆食事

入所者一人当たり月別食事基本カロリー　(kcal)

平成29年度												
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
1578	1585	1600	1581	1571	1568	1600	1586	1607	1620	1602	1597	1591

◆日常生活　(人)

区分	項目	計	H28
歩行	自立歩行	1	2
	杖等の歩行補助器具使用	2	4
	車椅子使用	41	36
	歩行不能	13	14
入浴	自分で可能	0	0
	一部介助	33	28
	全面介助	24	27
食事	自分で可能	33	27
	一部介助	9	14
	全面介助	9	8
	経管栄養	6	6
認知症のある利用者		47	47

区分	項目		計	H28
着脱衣	自分で可能		8	8
	一部介助		23	23
	全面介助		26	24
排泄	トイレ	自分で可能	3	3
		一部介助	28	7
		全面介助	0	1
	ポータブルトイレ	自分で可能	4	4
		一部介助	2	5
		全面介助	0	0
	オムツ使用		26	35
	尿器使用		0	0
褥瘡のある利用者			6	10

◆体重

区分	-30	31-40	41-50	51-60	61-	合計	最高体重	最低体重
男	0名	0名	3名	7名	1名	11名	64.4kg	44kg
女	1名	14名	18名	5名	1名	39名	61.5kg	27.2kg
合計	1名	14名	21名	12名	2名	50名		

◆慢性疾患　(人)

障害区分	病名	男	女	合計	平成28
脳血管障害	蜘蛛膜下出血	0	2	2	3
	脳出血・脳梗塞	4	12	16	18
	脳動脈硬化症	0	0	0	0
	パーキンソン病	1	5	6	3
	脳血栓	0	1	1	0
循環器疾患	高血圧症	3	27	30	27
	心不全	1	11	12	9
	狭心症・心筋梗塞	0	4	4	4
	心房細動	1	7	8	9
	閉塞性動脈硬化症	0	0	0	0
	貧血	0	3	5	1
	三尖弁閉塞不全症	0	0	0	0
呼吸器疾患	気管支喘息	0	1	1	1
	慢性気管支炎・肺気腫	0	1	1	0
	肺炎	4	17	21	16
消化器疾患	胃潰瘍・十二指腸潰瘍	1	1	2	3

	胃癌	0	3	3	2
	ヘルニア・イレウス	2	1	3	1
	胆石・胆嚢炎	0	2	2	1
	大腸癌　手術後	1	0	1	1
	慢性胃炎	0	1	1	2
	大腸炎	0	1	1	0
	肝疾患	1	3	4	4
	逆流性食道炎	1	6	7	6
	便秘症	3	29	32	23
	膵臓癌	0	0	0	0
内分泌代謝性疾患	糖尿病	3	6	9	9
骨・関節疾患	骨粗鬆症	0	8	8	5
	リュウマチ	0	1	1	1
	大腿骨骨折	3	14	17	10
	脊椎症	3	6	9	8
	膝関節症・腰椎症	1	13	14	9
泌尿・生殖器疾患	膀胱炎・腎炎	1	6	7	13
	尿路感染症	1	17	18	14
	腎不全	0	4	4	2
	膀胱癌・水腎症	0	3	3	1
	腎硬化症・腎膿瘍	0	0	0	0
	高尿酸血症	0	0	0	1
	神経因性膀胱炎	1	4	5	3
	前立腺肥大	1	0	1	2
眼疾患	白内障	1	10	11	12
	緑内障	1	2	3	0
皮膚疾患	掻痒症	2	3	5	1
	帯状庖疹	1	3	4	1
	白癬	4	13	17	20
	乾癬症	0	0	0	0
	慢性湿疹	1	0	1	2
精神疾患	老人性認知症	3	26	29	15
	鬱病	1	7	8	3
	アルツハイマー	2	8	10	9
	精神発達遅滞	0	0	0	0
婦人科疾患	子宮癌	0	0	0	0
	子宮筋腫	0	3	3	3
	子宮後屈	0	0	0	0
耳鼻科	メニエル症候群	0	0	0	1

【機能訓練】

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	H28
マイクロ		28	29	29	28	27	27	27	26	26	25	25	26	323	245
ホットパック		0	0	0	0	0	0	3	3	3	3	2	3	17	30
マッサージ		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12	12
平行棒内歩行		22	22	21	21	21	19	19	19	19	19	18	17	237	165
歩行訓練	台車歩行	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	杖歩行	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

	独歩	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	手引き歩行	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	2	12
	段差昇降	1	1	1	1	1	1	2	2	2	2	2	2	18	0
	歩行器歩行	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	4	60	199
立位保持訓練		0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	1	2	6	20
座位保持訓練		1	1	0	0	0	0	0	0	0	2	3	3	10	5
関節可動域訓練		12	12	12	12	12	12	12	12	11	11	10	10	138	110
移乗訓練		5	5	6	6	6	6	6	6	6	5	5	5	67	168
バイク（筋トレ）		10	10	10	9	9	9	9	8	7	7	7	7	102	110
対人ボール投げ		30	30	30	29	29	28	28	28	28	26	26	26	338	326
歌レク（嚥下体操）		30	30	28	28	26	26	26	26	25	25	25	25	320	344
パズル（作業療法）		4	4	4	5	5	5	5	5	6	7	7	8	65	—

【待機者の状況】　（人）

	男	女	合計
旧伊賀町	1（1）	3（1）	4（2）
他伊賀市内	7（3）	10（6）	17（9）
その他の地域	0（0）	0（0）	0（0）
合計	8（4）	13（7）	21（11）

平成29年3月31日現在の数字である。（　）内の数字は入所判定基準で当法人が入所相当と認める80点以上の待機者の数。

※このほか、要介護1及び要介護2の方の申込みは5件仮受付をしているが、いずれも特例入所には該当せず。

【主な行事】

月	全体行事
4月	
6月	家族会
8月	夏祭り
9月	敬老会
11月	
12月	クリスマス会、年末行事(餅つき、門松作り)
1月	新年会
2月	
3月	

（2）短期入所生活介護事業所　「いがの里」

【利用者数】

	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
実人数	0人	0人	75人	123人	56人	55人	24人
延べ人数	0人	0人	393人	1206人	527人	442人	141人
1人あたりの利用日数	0日	0日	5.2日	9.8日	9.4日	8.0日	5.9日

【平均要介護度】

過去5年間の推移

年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
平成要介護度	2.9	2.9	2.8	2.7	3.3

【社福減免】

保険者名	実人数	軽減額
伊賀市	0人	0円

平成29年度の減免対象者は0人でした。

【主な行事】　※特養いがの里と同様

地域支援事業

社会福祉法人は社会福祉事業を主たる事業とする非営利法人であり、制度や市場原理では満たされないニーズについても率先して対応する取り組みが求められている現状に鑑み、様々な社会生活上の困難を抱える方々に対して、日常生活の支援を含む次のサービスを提供した。

＜重点目標＞

①住民活動の社会資源を活用するため顔の見える関係づくり

②地域を基盤とする支援活動の場つくり

（1）社会福祉協議会と連携し、地域で開催される介護予防教室開催への講師派遣

①森の里　…　3回

②いがの里　…　7回

（2）もりの喫茶店開催

特別養護老人ホーム森の里木精館1Fの地域交流室において、地域ボランティアの支援を受け月2回第2火曜日に開催し、地域住民の方や入居者の憩いの場所となっている。年間294人利用。

（3）種生おしゃべりサロン

気楽にあつまりおしゃべりを楽しむことを目的に30年2月より第2木曜日開催し30人の参加者。

（4）お買い物バスの運営

平成29年度実績　延活動日数491日　延利用者数2,613人　平均利用者数5.3人

（5）ほほえみの集いの送迎支援

春のほほえみのつどい実行委員会（事務局：青山ボランティア連絡会）主催で、一人暮らしの高齢者同士、世代間の交流会を開催しており、青山福祉会として送迎の支援行った。